

にじ組(2歳児)

室内が暗くなる、電気がついて明るくなる事に「なんで？」と発言していた子どもたちの姿から光をテーマにしました様々な素材や玩具、廃材を使って光の変化を経験しています。

テーマ 光→色→影

「ね～みててね、ちがういろのせるよ」
「わかったよ！どうなるのかな～？」

色を重ねると光が見えにくくなる事、
素材によって光を通さないものがある
ことを体験し、不思議がっていました

9月



手持ちライトを玩具棚に用意すると積極的にライトを使った遊びが始まるようになりました

服にいるうさぎが
後ろにうつるかな？

11月

「みーつけた！」「みつかった～」
お家を作ってかくれつつ中から外に向けた
ライトと外から中に向けたライトを通して
二人は違った光方や色を感じています

10月

←天井に光を

「これはなーんだ！」
「えー、ジャンプしてる影！」

3月

少し前から影に気づきはじめ「あかるくないと
かげはできないんだよ」「それならみんなで影
を作ってみよう」ということになりスクリーン
に自分たちの影を映し出す遊びをしました

担任より

光→暗さ→色→影と子どもの興味が深化して
いくのを担任も一緒に探究してきました。
「どうして？」「こうしたらどうなる？」
の子どもたちのワクワクする気持ちや探究
の楽しさを大切に生活していきたいと感じ
ています。